Ｒ７．６．２０（金）
NO.１７

仙北市立桧木内小学校　学校報

紙風船

◆　「なか志ま」に行ってきました（5年生：6月16日）

５年生が、上桧木内の「なか志ま」を訪問しました。５年生は、総合の学習で桧木内地区に伝わる郷土料理について調べていて、地元のお店の方から直接話を聞いてみようということになり、伺うことになりました。お店の方から、桧木内地区は山菜やきのこが豊富であることや、それらを使った家庭の味が代々受け継がれていて、それが郷土料理になっていること、季節によって様々な料理があるということ、保存できる食材もあること、などたくさんのことを教えていただきました。また、ミズの油炒めやワラビのおひたし、冷凍保存しておいたコゴミ、そして、笹餅をごちそうになり、郷土料理の美味しさにすっかり魅了された子どもたちでした。

◆　あいさつ運動（6月17日）

17日の朝、仙北警察署・市少年保護育成委員会・防犯協会桧木内支部の皆さんが、児童玄関前であいさつ運動を行ってくださいました。小雨が降り、どんよりした雰囲気が漂っていましたが、あいさつを交わすたびに、玄関前の空気が清々しくさわやかになっていきました。今回は、あいさつをした後にポケットティッシュをいただき、子どもたちの表情も自然に笑顔になっていました。年度内にもう１回あいさつ運動をしてくださるということでしたので、次回も明るく元気にあいさつを交わせたらと思います。

◆　「人権の花」植栽活動（6月18日）

お二人の人権擁護委員さんをお招きし、人権の花（ベゴニア）の植栽活動を行いました。はじめに、人権擁護委員さんから、人と助け合って活動することの大切さや、思いやりの心を大事にしていってほしいというお話がありました。次に、縦割りグループごとに、プランターにベゴニアを３株ずつ植えました。声をかけ合い、力を合わせて活動する姿が微笑ましかったです。終わりの会では、５年生のＳ.Ｕさんが「今日植えた"幸せの花"の命を大切にしていきたいです」と、素敵な感想を述べてくれたました。水やり当番の活動も始まります。梅雨入りはしていますが、朝から暑い日が続きそうです。役割をきちんと果たす大切さも学びながら、お世話を頑張ってほしいと願っています。